



理科共通コロキウム

日時：12月2日（火）17:00より

場所：愛知教育大学自然科学棟4階401号室

本学理科教育講座では、学内外の自然科学者による講演及び全体討論会「理科共通コロキウム」(<http://sites.google.com/site/auescicolo>)を実施しております。学内の教員や学生、並びに学外の研究者や教員の方々に開放していますので、是非ご参加ください。

講師：阿武木啓朗氏

愛知教育大学理科教育講座物理分野 講師

題目：量子色力学が明かす物質・真空の構造及びその相転移

概要：我々の周りに存在する物質の質量の担い手となっている陽子や中性子は究極の物質構成要素「クォーク」から作られていることが分かっている。クォークを結びつける力の基礎理論としては「量子色力学」が確立している。本講演では、クォークや量子色力学が導入された歴史的経緯について振り返り、それが我々の真空・物質観をどのように変えたのかを解説する。さらに高密度・高圧が実現する星の内部といった極限的な外部環境下での真空の相転移の可能性について、私自身がこれまで行ってきた研究について紹介する。

世話人 理科教育講座 宮川貴彦, 島田知彦, 常木静河, 幅良統, 上野裕則

<<問い合わせ先>> 宮川貴彦 takamiya@aecc.aichi-edu.ac.jp